

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 22日

事業所名: 学童クラブそよ風

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	14	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	13	2		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	1		「シャワー室」シャワー室が外遊び用具の荷物置き場になっている件だと思います。改善します。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	13	2		わからない。全員できているか。職員・パートで差があると思う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	1		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12	2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	13		検討課題とします。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	1		
適切な支援の担	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	14	1		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	3		
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	2		
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	14	1		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	1		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	15			
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	4		会議等で課題をさらにはっきりさせ、きめ細やかな支援が行えるようにしていきます。

児 供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	2		
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	2		
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	6		送迎等で始業・終業の時間がまちまちですが、その中でも振り返りできる機会を作っていきます。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15			
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	14	1		
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	12	3		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15			
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	15			
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	15			
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	14	1		
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	2		

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	11		地域のイベント等に参加するなどして地域との交流の中で関係を広げていきたいと思えます。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	12	3		
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	1		
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	10	4		検討課題とします。
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14			
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	15			
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13	2		
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	9		
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15			
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15			
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	11		地域の行事に参画する方向で何かしらに参加していきたいと思えます。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	15			
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	1		
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	1		

51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	1		虐待防止と人権の研修は合わせて年4回以上の職員研修を実施しています。いいえの意見の具体的な内容は聞けませんでした。いいえという意見が一つでもあることを重く受け止め、職員の研修や環境整備を行っていきたいと思います。
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	14	1		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

総評

総評として、いいえが0にならないのは、1の意見をしっかりと取り取る体制作りが問題なのだと思います。ご意見ボックスを充実させたり、ヒヤリハットをもっと積極的に出してもらったりする中で意見を出しやすい環境整備が課題であり、取り組んでいきたい思います。この評価をどうつけていかわからないという声も聞きました。わからないという項目をつけるのではなく、この評価の骨子である「放課後等デイサービスガイドライン」の研修をよりわかりやすいものにしていきたいと思います。